

「忘れられた」被災地の自立をサポートする復興支援

ピースウィンズ・ジャパンの活動を通して支援

ピースウィンズ・ジャパンは、1996年に日本で設立された特定非営利活動法人(NPO)で、約600名のスタッフが世界各地でさまざまな支援活動に取り組んでいます。中核事業として「国際人道支援」「災害支援」「保護犬事業」の3つがあり、クラレ財団は主に「災害支援」、中でも時間の経過とともに支援が届きにくく、復興が難しい地域をサポートしています。

私たちの使命
世のため人のため、
他人のやれないことをやる
クラレ財団は「忘れられた」
被災地への支援活動を行っています。



2018年西日本豪雨災害被災地：倉敷市真備町への支援

公共施設などへの防災用備蓄食料品の提供と、真備図書館への図書の寄贈を行いました。



防災教育

2021年10月：倉敷市総合防災訓練の「支援物資仕分け」訓練用備蓄食料1,800個を提供。
2021年11月：真備町服部地区自主防災会で開催された防災訓練の参加者48名に備蓄食料を提供。



図書の寄贈

13万7千点のうち12万7千点が失われた図書館に図書876冊と備品を寄贈。
被災から二年半後の2021年1月30日に再開した図書館は多くの人に利用されています。

ハリケーンと地震被災地：ハイチへの支援

2016年の巨大ハリケーンと2021年の大地震でハイチは甚大な被害を受けました。一時時的な経済支援ではなく、人々が自立して生活していけるようになるための経済活動の支援と、安全や衛生など生活環境を向上させるための研修を行っています。



これまでの支援内容

- 2022年度** ナッツの加工技術の向上と販売の支援
- 2023年度** 服の製造から販売の支援
- 2024年度** 漁具や加工場の環境整備と販売の支援